

# 日本・アメリカ・ヨーロッパの開発協力政策

山澤逸平・平田 章 編



10024867

# 日本・アメリカ・ヨーロッパの開発協力政策

山澤逸平・平田 章 編

アジア経済研究所

研究双書No.422

山澤逸平・平田章編『日本・アメリカ・ヨーロッパの開発協力政策』

英文表題および目次

*Title*

**Nihon Amerika Yōroppa no Kaihatsu-Kyōryoku-Seisaku**  
(Development Cooperation Policies of Japan, the United States, and Europe)

*Edited by*

Ippei YAMAZAWA

Akira HIRATA

*Contents*

Introduction

Part I Japan's Development Cooperation: Policy and Organization

Part II U.S. Development Policies

Part III The Development Cooperation Policy of the Federal Republic of Germany

Summary and Conclusion: Rationale for Aid, Aid Coordination, and Policy Coherence



[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 422]

Published by the Institute of Developing Economies, 1992

42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

やまざわいつべい  
山澤逸平 (一橋大学)  
ひらたあきら  
平田章 (アジア経済研究所)  
こはまひろひさ  
小浜裕久 (静岡県立大学)  
てらにしじゆうろう  
寺西重郎 (一橋大学)  
いまいけんいち  
今井健一 (アジア経済研究所)  
おかもとゆみこ  
岡本由美子 (アジア経済研究所)  
よこたかずひこ  
横田一彦 (アジア経済研究所)  
ごとうかずみ  
後藤一美 (海外経済協力基金)  
やなぎはらとおる  
柳原透 (法政大学)  
おくだひでのぶ  
奥田英信 (一橋大学)

Maurice J. Williams (ODC)

Jim Nelson Barnhart Jr. (ODC)

Burghard Claus (GDI)

Hans H. Lembke (GDI)

—執筆順—

日本・アメリカ・ヨーロッパの開発協力政策 研究双書422

1992年9月30日発行©

編者 山澤逸平・平田章

発行所 アジア経済研究所  
東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04422-9 C3033



# 目 次

まえがき

序 説 日本, アメリカ, ヨーロッパの開発協力政策 .....	3
----------------------------------	---

## 第 1 部 日本への対発展途上国援助政策

第 1 章 日本への開発援助：政策と組織 .....	15
第 2 章 日本への政府開発援助の展開 .....	20
第 1 節 歴史的趨勢 .....	21
第 2 節 日本へのODAの時期区分 .....	23
第 3 節 日本への援助目的と二国間ODA配分比率の決定 .....	41
第 4 節 世論とODA .....	46
第 3 章 援助対応を中心とした日本への国際運営の課題 .....	54
第 1 節 国際国家としての日本への対応 .....	55
第 2 節 対外援助への国際的動向 .....	59
第 3 節 日本への対外援助の特徴 .....	61
第 4 節 日本への援助行政の諸相 .....	63
第 5 節 日本への対外援助のあり方 .....	67
第 6 節 日本への援助対応の課題 .....	68
第 7 節 対外援助と日本への社会システム .....	71

第4章 政策支援借款と日本の政策 .....	75
第1節 政策支援借款開始の背景 .....	75
第2節 構造調整についての考え方 .....	79
第5章 日本型ツー・ステップ・ローン：世銀アプローチと 日本アプローチ .....	85
第1節 本章の目的 .....	85
第2節 OECFのTSLの実績とその特徴 .....	86
第3節 日本型TSLに対する世銀の批判点 .....	92
第4節 日本型開発戦略と日本型TSL .....	94
第5節 日本型TSLの妥当性と実施方法の適切さ .....	98
第6節 OECFのTSLの評価：ひとつの事例研究 .....	101
第7節 覚書き：日本型TSLの実施基準について .....	104
第6章 日本のODA政策と被援助国の経済発展 .....	106
第1節 日本のODA政策の理念 .....	106
第2節 長期的な経済発展に対する日本の見解 .....	107
第3節 日本のODAと経済発展政策の関係 .....	109
第4節 援助政策の背景 .....	111
第5節 日本のODAに関する現在の問題 .....	113
〔第1部参考文献〕 .....	115

## 第2部 アメリカの対発展途上国援助政策

第1章 アメリカの対発展途上国援助政策：要約 .....	123
第1節 手段としての経済援助：アメリカの世界戦略 .....	123

第2節	アメリカ政府開発援助のプログラムと手段	125
第3節	アメリカの対外援助の政策決定過程	127
第4節	アメリカの援助目的の変化と改革への展望	128
第2章	アメリカ援助の歴史的経験：7つの援助戦略モデル	130
第1節	マーシャルプラン	130
第2節	発展途上国に対する技術協力	131
第3節	ソ連封じ込めのための援助：相互安全保障同盟	132
第4節	第三世界近代化のためのビッグプッシュ援助：アメリカ 開発援助の黄金時代	134
第5節	政治目的達成の一手段としての援助	137
第6節	議会主導下でのBHN援助	139
第7節	冷戦体制下での援助	141
第3章	現在のアメリカの二国間援助プログラム	144
第1節	外交目標	144
第2節	アメリカ経済援助の主要構成要素	145
第3節	地理的援助配分	151
第4節	債務救済のためのODA	152
第5節	行政	153
第6節	他のアメリカ援助機関	154
第7節	援助比較	156
第4章	アメリカ外交政策の一環としての多国間援助	158
第1節	多国間援助の動機づけ	158
第2節	アメリカの多国間援助支持の最盛期	160
第3節	多国間援助からの撤退	162
第4節	アメリカの援助政策と多国間開発銀行	165



第5節	多国間開発銀行の政治化の問題	167
第6節	多国間援助のコンディショナリティーの強化	169
第7節	アメリカのIDAへの貢献	170
第5章	世論と特殊利害がアメリカ援助に与える影響	173
第1節	経済援助への一般市民の支持	173
第2節	ODAに対する反対意見	174
第3節	国内のODA支持層	177
第4節	特定国・地域を対象にするロビー活動団体	183
第5節	終わりに	184
第6章	援助政策の決定過程	185
第1節	複雑な政策決定過程	185
第2節	国務省の対外援助調整	186
第3節	財務省の対外援助調整	188
第4節	意思決定と調整におけるUSAIDの役割	189
第5節	その他の経済的相互依存に関わる問題の調整	191
第6節	対外援助における議会の政策決定	191
第7章	援助政策の根拠の変化	198
第1節	アメリカの援助目的とは何か	198
第2節	アメリカの援助レベルをどの程度にするのか	202
第3節	アメリカ援助の新たな根拠	203
第4節	援助の戦略的アプローチ	205
第8章	将来の援助見通しに影響を与える要因	208
第1節	援助改革の見通し	208
第2節	アメリカの経済的利益の援助計画への統合化	209

第3節	発展途上国との貿易と援助の結びつきの強化	210
第4節	安全保障上ないしは政治的援助の新たな実績基準	211
第5節	重要な世界的問題への焦点	212
第6節	援助条件へのアメリカの価値観の反映	213
第7節	徐々に低下するアメリカのODA	214
第8節	アメリカの政策目的に対する国際援助の影響力	215
〔第2部参考文献〕		219

### 第3部 ドイツの開発協力政策

第1章	第三世界への関心と政策	225
第1節	関心と関係の焦点	225
第2節	援助政策の進化	228
第3節	数量的概要	232
第4節	狭義の援助政策を超えた協力：政策の一貫性？	234
第2章	世論、社会的団体、政府開発政策	237
第1節	世論からみた開発政策：広範な支持と知識の不足	237
第2節	関心をもつ読者に対する詳細な報道と大衆に対するス クープ：メディアの対応	238
第3節	開発政策に関する学界と政府の対話	240
第4節	開発政策における経営団体と労働組合の立場	241
第5節	政党と議会	243
第6節	非政府組織：第三世界の利益代表	247

第3章 開発政策の概念 .....	250
第1節 開発概念の中核部分と周辺部分 .....	250
第2節 援助配分の方針：撒水タンクの終焉？ .....	252
第4章 政策決定および実施機構 .....	263
第1節 省レベルの政策決定：連邦経済協力省とその他の省 .....	263
第2節 予算手続き：BMZと議会の折衝 .....	267
第3節 州の開発政策 .....	267
第4節 実施機構：多様性が細分化か .....	269
第5節 パートナーの関与と分権化による効率改善：海外組織の拡大 .....	277
第5章 二国間援助の形態と方式 .....	280
第1節 計画と管理：国別援助の概念とプロジェクトの実施 .....	280
第2節 二国間援助の方式 .....	281
第3節 資金協力 .....	284
第4節 技術協力 .....	287
第5節 財界との協力：民間部門の促進と二国間援助の方策 .....	290
第6章 多国間機関とのパートナーシップ .....	296
第1節 多国間・多国籍開発協力 .....	296
第2節 ドイツODAにおける多国間フローの意義 .....	297
第3節 多国間協力におけるドイツ人職員、人事政策とコンセプト .....	299
第4節 ドイツの多国間協力の焦点 .....	302
第5節 1990年代前半のドイツ多国間開発協力 .....	306
第7章 ECの開発協力政策と二国間援助のヨーロッパ化の 見通しに対するドイツの見解 .....	309
第1節 EC開発援助政策とヨーロッパ各国の開発援助政策 .....	309

第2節 ECの開発協力	310
第3節 最近のEC開発協力へのドイツの関与	315
第4節 共通開発政策のオプション	316
第8章 ドイツ開発協力の見通し：変化する世界への対処	322
第1節 地球大の挑戦	322
第2節 ドイツ統一	324
第3節 東ヨーロッパの制度改革	326
第4節 ヨーロッパ共同体の統合強化	327
〔第3部参考文献〕	329
要約と結論 援助原理・援助協調・政策調整	331